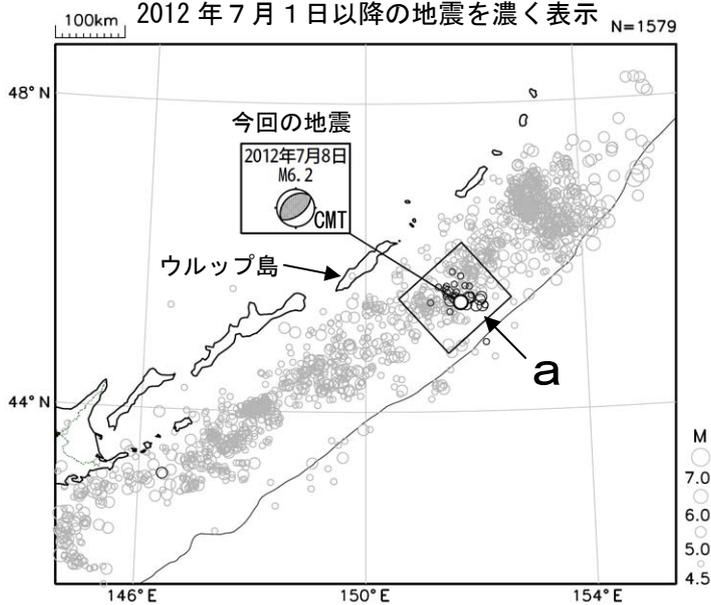


## 7月8日 千島列島（ウルップ島南東沖）の地震

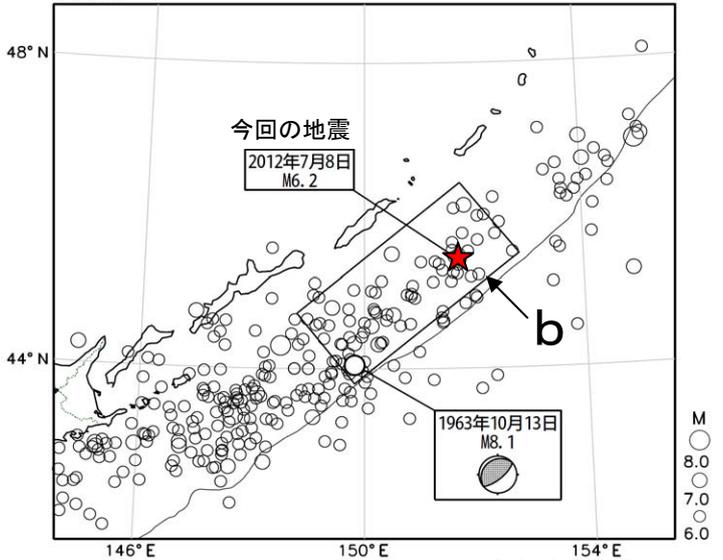
震央分布図(1997年10月1日～2012年7月31日、  
深さ0～100km、 $M \geq 4.5$ )



2012年7月8日20時33分に千島列島でM6.2の地震(国内最大震度1)が発生した。発震機構(CMT解)は、北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。今回の地震の震央付近(領域a)では、7日から地震活動がやや活発となり、M5.0以上の地震が15日までに12個発生した。これらの地震は、1963年10月13日の択捉島南東沖の地震(M8.1)の震源域の東端で発生した。

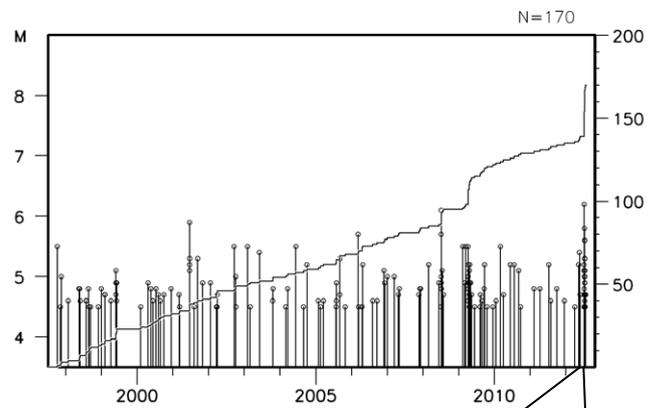
1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M7.0以上の地震が時々発生している。1963年10月13日の択捉島南東沖の地震(M8.1、国内最大震度4)では、日本の広い範囲で津波が観測され、根室市花咲で最大の高さ74cmの津波を観測した。この津波により、三陸沿岸で漁業施設に軽微な被害が生じている(「最新版 日本被害地震総覧」による)。

震央分布図(1923年1月1日～2012年7月31日、  
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$ )

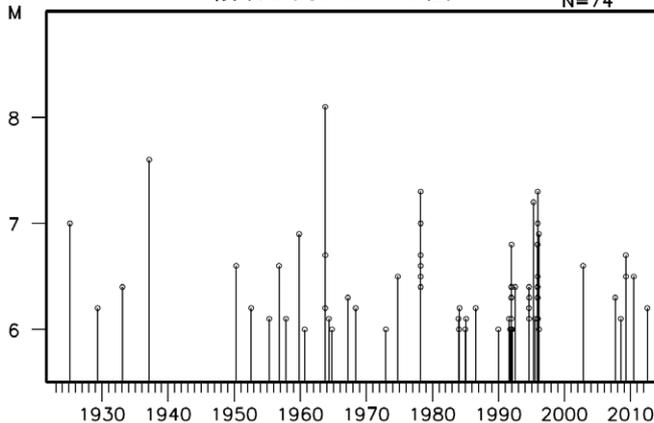


※ 図中の領域bは、1963年10月13日の択捉島南東沖の地震(M8.1)の震源域に相当する。

領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図



(2012年7月1日～31日)

